

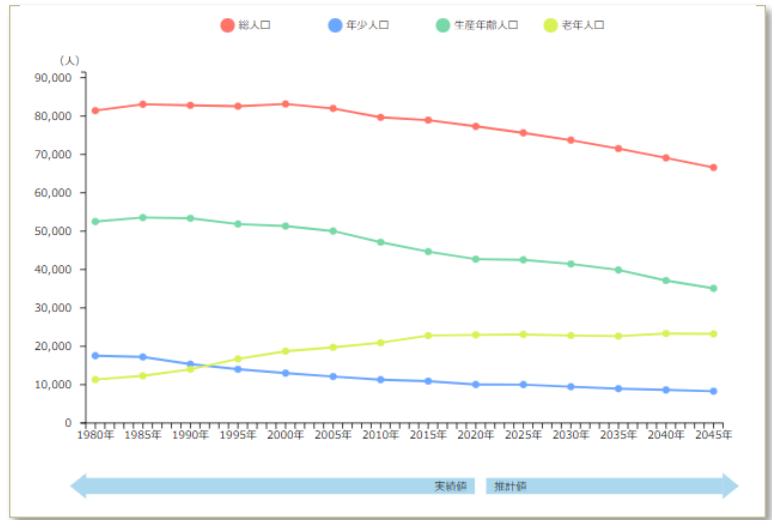
地域経済動向レポート 京都府福知山市

人口

年齢別人口推移

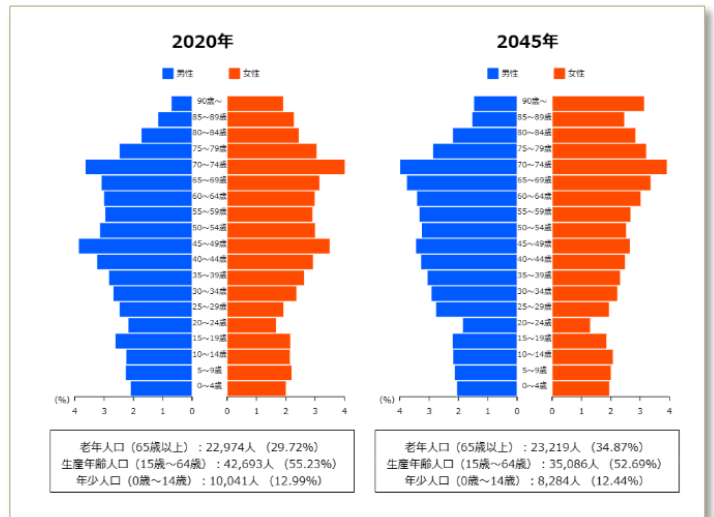
2020年の人口は 77,306人。20年前の 83,120人から減少しています。将来人口をみると、今後も減少が続く見込みです。

年齢別に今後の傾向をみると、年少人口と生産年齢人口は減少傾向、老年人口は2025年まで増加後、横ばいに転じることが予想されています。



人口ピラミッド

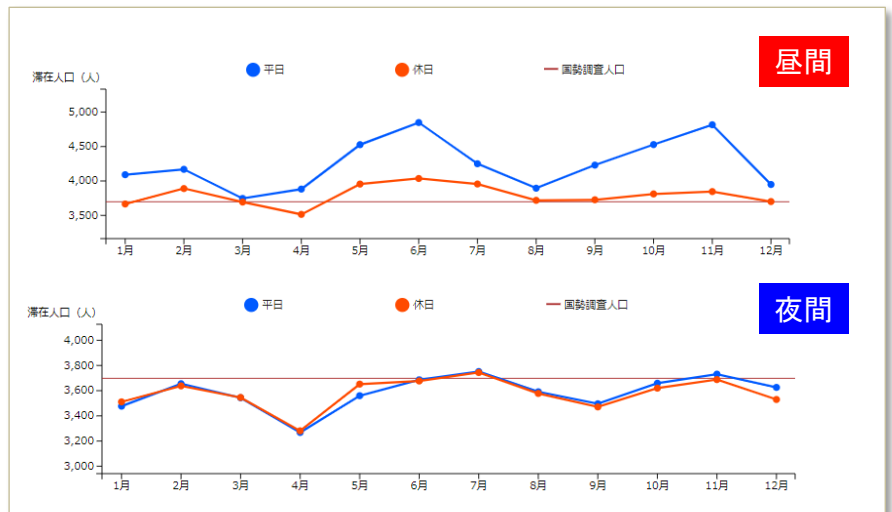
現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフです。老年人口の割合をみると、2020年の29.7%から2045年には34.8%まで上昇する一方、生産年齢人口は2020年の55.2%から2045年には52.6%まで低下する見込みです。



滞在人口 (2021年)

携帯電話の位置情報を元に、15歳以上20歳未満の市内に滞在している人の数を月毎に示したグラフです。

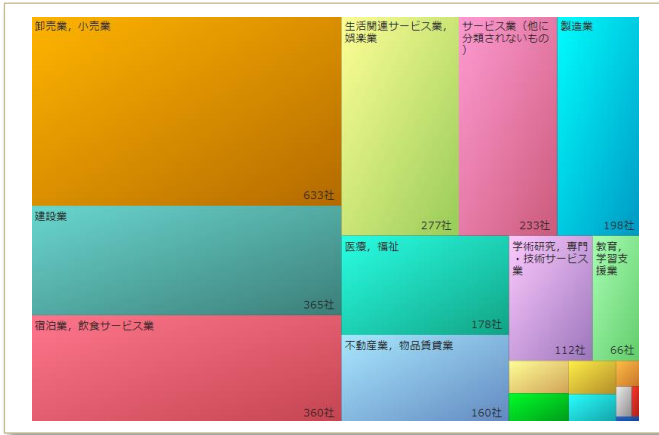
平日昼間の滞在人口が休日よりも多く、また、春休み、夏休み、冬休みの平日昼間人口が減少しています。このことから市外から通学している学生が多いことが読み取れます。



産業構造

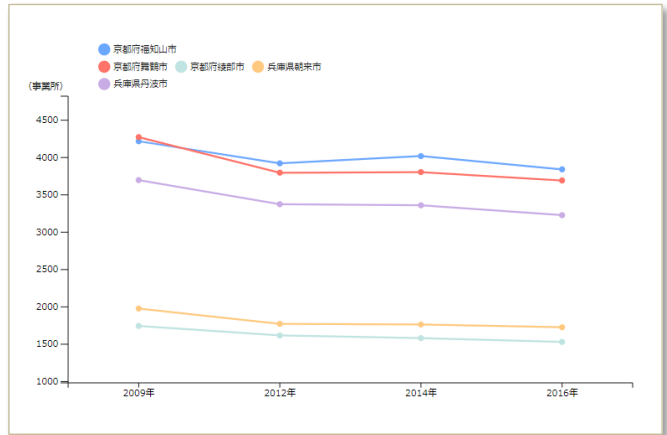
事業所数（大分類）（2016年）

業種ごとの事業所数を面の大きさに示したグラフです。最も多いのは「卸売業・小売業」で633事業所です。



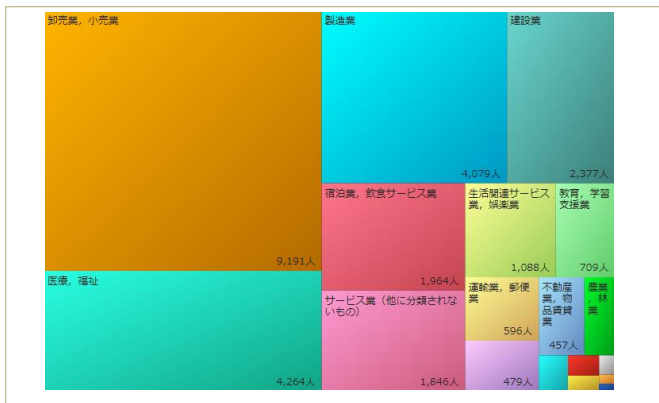
事業所数の推移

2016年の事業所数は3,842事業所で、7年前の2009年と比較して8.9%減少しています。周辺地域の推移も概ね同様の傾向です。



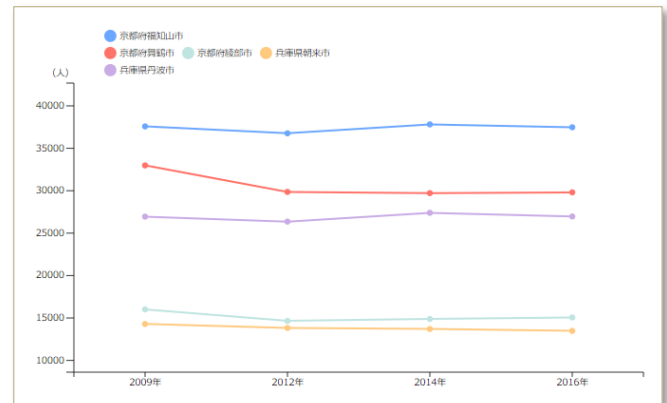
従業者数（事業所単位）（2016年）

業種ごとの従業者数を面の大きさに示したグラフです。最も多いのは「卸売業、小売業」で9,191人です。



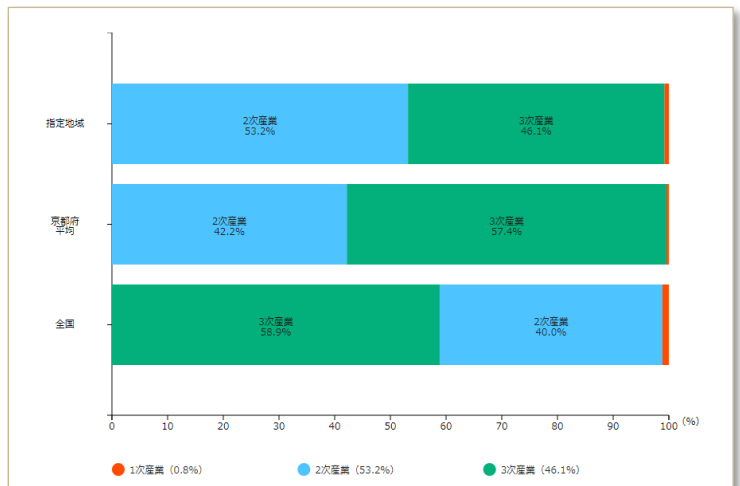
従業者数の推移

2016年の従業者数は37,476人で、7年前の2009年と比較して概ね横ばいです。周辺地域の推移も概ね同様の傾向にあります。



地域内産業の構成割合 （生産額・総額）（2018年）

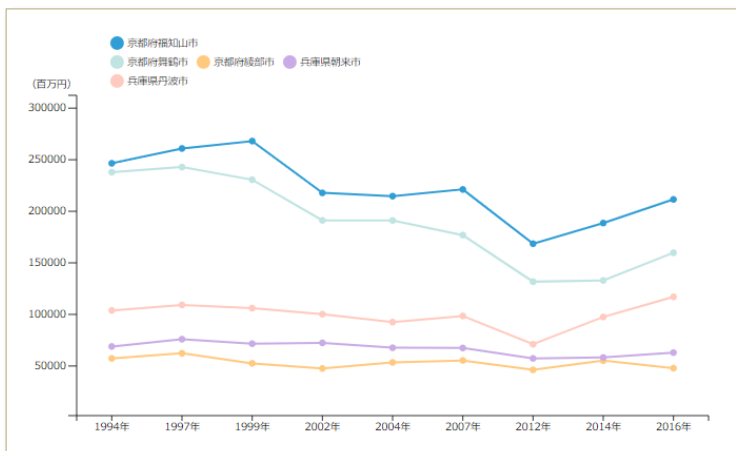
産業の構成割合を京都府および全国と比較したグラフです。京都府、全国との比較では、第2次産業の割合が高く、第3次産業の割合が低くなっているのがわかります。



小売業・卸売業

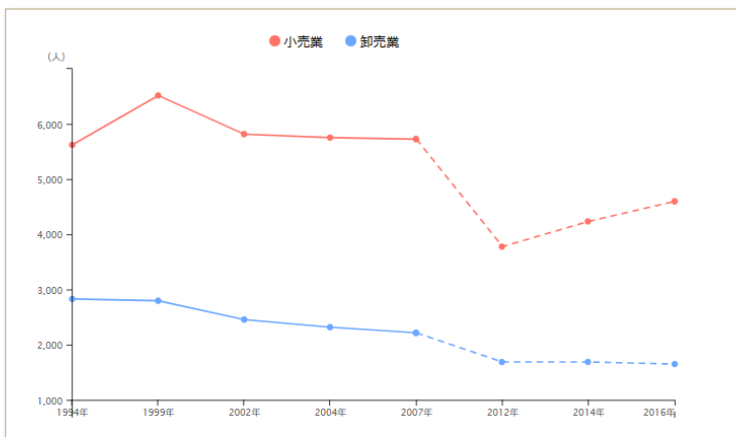
年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の商品販売額の推移を示したグラフです。福知山市の販売額は2,115億円。2012年と比べると25.4%増です。同じ期間で他地域をみると、丹波市は64.6%増、舞鶴市は21.2%増、朝来市、綾部市は微増となっています。



事業所数 (小売業・卸売業) の推移

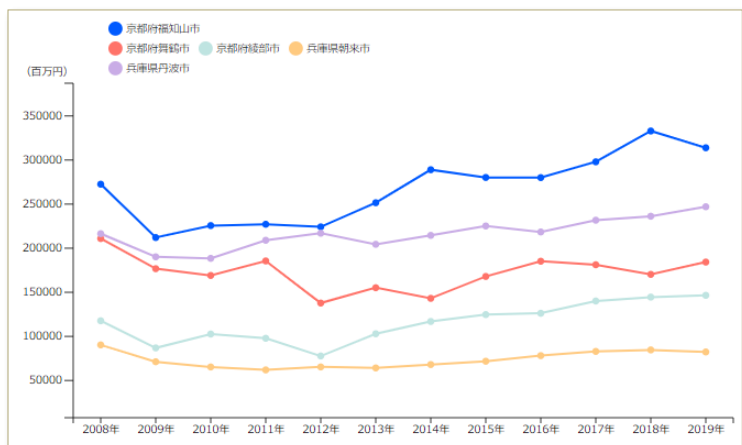
小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフです。2016年の事業所数は、小売業589事業所、卸売業219事業所。2012年と比べると小売業は1.5%増、卸売業は7.8%増となっています。



製造業

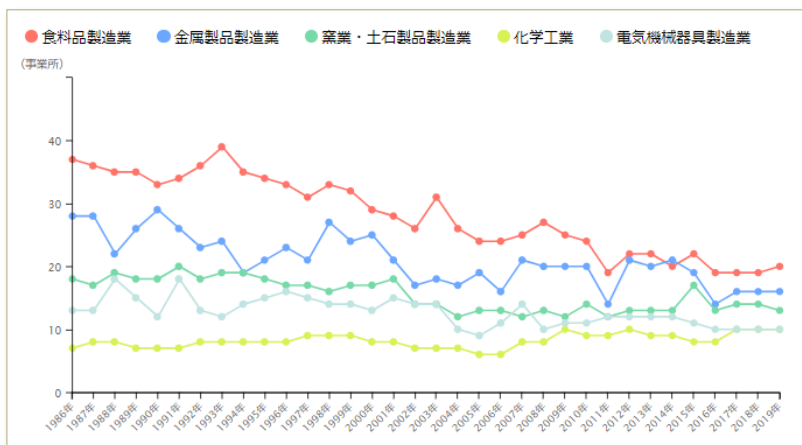
製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフです。福知山市の出荷額は3,138億円。2015年と比べると12.0%増です。同じ期間で他地域をみると、丹波市、舞鶴市は9.7%増、綾部市は7.3%増、朝来市は14.6%増となっています。



事業所数 (主要製造業) の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフです。福知山市には「食料品製造業」や「金属製品製造業」が多く、事業所数は30年間で、横ばいもしくは減少しています。



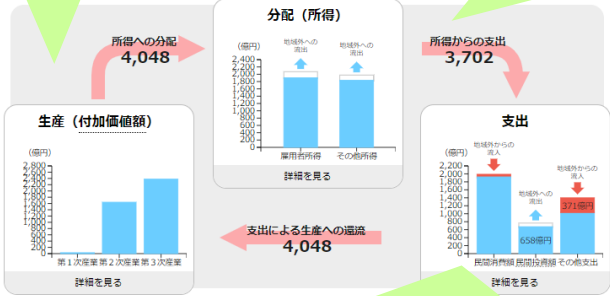
地域経済循環

地域経済循環図（2018年）

地域内の活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて再び地域内に還流します。この流れを示したものが地域循環図です。

福知山市は4,048億円
の付加価値を生み出
しています。

付加価値は市外との流入により
差引3,702億円が市内に分配されて
支出に回っています。

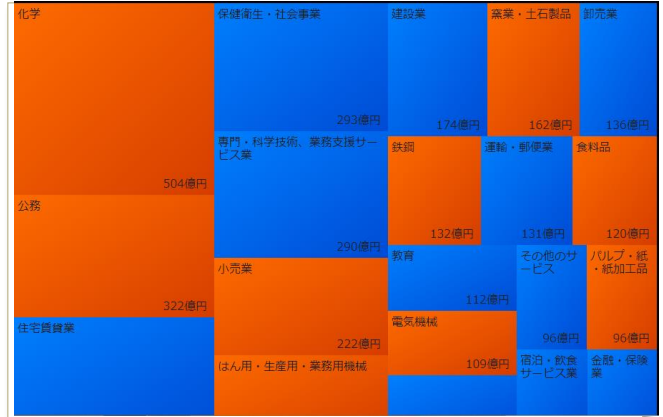


市内へ支出された金額は1,688億円。地域内の所得1,961億円より少なく、稼ぎが市外へ流出しています。

生産分析（2018年）

左図の生産（付加価値）の内訳を面の大きさで示したグラフです。付加価値が高いのは「化学業」「公務業」です。

グラフの色は、赤色は地域外から稼いでいる産業（移輸出超過）、青色は地域外から調達している産業（移輸入超過）を表しています。

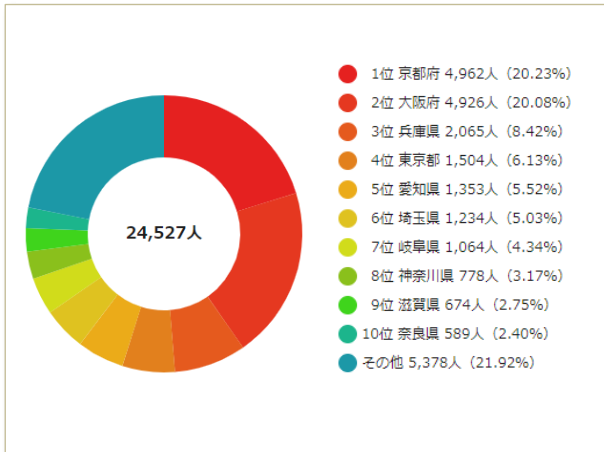


観光

From-to分析（宿泊者）（2021年）

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフです。

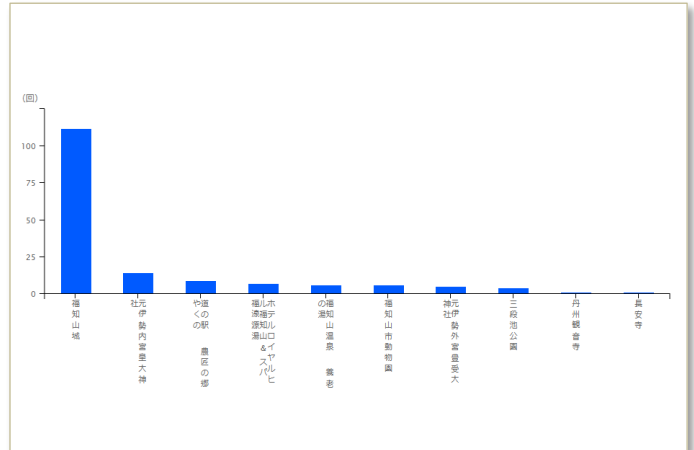
京都府が20.23%と最も多く、大阪府が20.08%と続いています。



目的地検索ランキング（2021年・休日・自動車）

インターネットで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフです。

「福知山城」「元伊勢内宮皇大神社」の検索回数が多く、来訪者の関心が高いことがわかります。



この経済分析は「RESAS」を活用しています

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータをグラフでわかりやすく「見える化（可視化）」するシステムです。地域の実情をビジュアルに把握・分析できます。誰でも無料で使えます。